

平成29年度における四條畷市市民総合センター及び四條畷市立公民館  
の管理運営に対する評価票

所 管 課：教育委員会 公民館

評価対象：平成29年4月1日～平成30年3月31日

評価委員会開催日：平成30年11月8日

1 指定管理者

指定管理者	四條畷市ラーニングcommons
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）
施設概要	収容713人の市民ホールを中心とした市立図書館、市立公民館を含めた総合施設で、市民の福祉増進と文化教養に寄与するために35年前に設置され、市民の文化意識の向上と地域文化を図る活動の拠点として、また、地域住民にとって最も身近な学習拠点として利用されている。
指定管理料	42,400千円（平成29年度）

2 管理運営の内容

項 目	29年度の状況
運営状況	<p><b>（1）平等利用の確保</b></p> <p>①利用者のために自主的に受付時間を21時まで延長した。また、市主催事業等においては、担当課と綿密な打ち合わせを実施し、事業に不要な施設を市民が利用できるよう調整した。</p> <p>②市民ホールの使用状況及び公民館空室状況を市民が閲覧できる場所に設置し、だれでも気軽に空室が確認できるようにした。</p> <p><b>（2）自主事業の展開</b></p> <p>①年4回の映画鑑賞会を行い、市内で映画鑑賞ができる機会を提供した。</p> <p>②乳幼児も参加できる「親子で楽しむコンサート」、「親子で遊ぼう！展示ホール開放デー」を実施し、親子のふれあいを促進した。</p> <p>③イクメン写真展やパープル&amp;オレンジリボン啓発事業等を実施し、男女共同参画や暴力、児童虐待防止等の人権啓発に取り組んだ。</p> <p>④コンサート中に火災が起きたことを想定する「避難訓練コンサート」を開催し、市民の防災意識の向上と実践を図った。</p> <p>⑤「なわてダンスドリルの祭典」、「昭和の歌コンサート」、「よしもお笑いライブ in 四條畷」等の新たな企画を含む自主事業を計24事業開催した。</p> <p>⑥四條畷市教育委員会主催の「夏休みキッズランド」に協力し、自主事業の企画運営を行ったのはじめ、様々な市主催事業について、人的、物的支援を行ったほか、公民館利用団体と共催による「懐かしのアナログレコード再生」事業を企画、実施した。</p> <p>⑦自主事業等に関するPR映像をロビーのモニターにて再生し、参加者の増加を図った。</p> <p><b>（3）施設の情報提供</b></p> <p>①指定管理が設置したホームページにて市民ホールの空き状況や、自主事業についてきめ細かに掲載しているほか、1階ロビーに特設のチラシラックを設置し、現在、どのような事業が行われているか容易にわかるように掲示を工夫した。</p> <p><b>（4）安全確保対策</b></p> <p>①定期巡回時の点検や防災訓練の実践として、避難訓練コンサートを実施し防災への意識啓発に努めた。</p>

維持管理状況	<p>(5) 保守点検</p> <p>①年間整備計画を策定し、日常の保守管理及び法令等で定められた定期点検を実施、不具合箇所の調査を行い、修繕計画を市担当課に提出した。補修、修繕が必要な箇所が発生した場合、専任の技術者が頻繁に対応し、適切かつ安価な修繕を心がけた。</p> <p>②市担当課と協議し、老朽化が進む建物、機器の整備、延命に努めた。</p> <p>(6) 清掃業務</p> <p>①日常清掃・定期清掃のほか、1日7回の定期巡回時にも良好な状態を保つように意識し注意を払った。</p> <p>(7) 警備業務</p> <p>①1日7回の定期館内巡回のほか、防犯マニュアルに従って職員に防犯の意識づけを行った。また、不審者対応の観点から男性を1人配置した。</p> <p>(8) 環境への配慮</p> <p>①ホール使用時の空調運転を季節ごとに対応し電力削減に努めるとともに、館内照明のLED化により省エネ効果を生み出した。</p> <p>②市民活動団体との協働により、緑のカーテンを設置することで良好な環境づくりを図った。</p>
利用状況	<p>前年度と比較し、市民ホールの利用状況は7件増加し128件の利用であった。利用の内訳は貸施設としての利用は61件、市関連の事業は67件であり、貸施設利用が8件の純増となった。また市外居住者の利用は昨年より5件多く、7件となった。</p> <p>利用者数は33,493人で、昨年より924人減少している。</p> <p>曜日別に見ると土曜日、日曜日の利用割合は56.3%であり、土日の利用は全体の過半数を占めた。全体の利用率は37.0%にとどまった。</p> <p>公民館の利用状況は、午前、午後、夜間のそれぞれを1枠とすると前年より20枠増加し、5,159枠の利用があった。また、利用者数は、79,261人で、前年度より2,605人増加している。</p> <p>部屋別利用率は、展示ホール：72.4% 視聴覚室：57.6% 音楽室：66.2% 実習室：38.4% 料理室：20.6% 相談室：18.7%等でギャラリー一室を除き全体では43.5%の利用率であった。</p>
収支状況	<p>収支状況は、収入が58,932,128円、支出が56,544,982円で、決算額は2,387,146円の黒字決算となった。うち200万円は市主導で電力会社を変更した成果であるため平成30年度に市に返還する。</p>

### 3 利用者へのアンケート調査

項目	29年度の状況
調査の実施内容	<p>対象：施設利用者</p> <p>調査期間：平成30年2月12日から平成30年3月12日</p> <p>調査方法：施設利用者へ受付窓口で調査依頼、その場で記入の上、アンケートボックスへ投函してもらう形式で実施。</p> <p>回答件数：109件</p>
調査の結果	<p>施設利用の感想：「非常に使いやすい」、「まあまあ使いやすい」が79.8%</p> <p>職員の対応：「非常に満足している」、「満足している」が96.3%</p>
主な苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示ホールのいすが重たすぎる。</li> <li>・音楽室の鏡を大きくしていただきたい。</li> <li>・展示ホールは床が汚い。鏡を備え付けて欲しい。</li> <li>・和室の畳がかなり傷んできたので出来れば張り替えてほしい。</li> <li>・トイレを洋式にしてほしい。</li> <li>・トイレスペースが狭いので、体格の良い人には使いにくい。</li> <li>・トイレが汚く臭いがきつい。</li> </ul>

#### 4 施設の評価

管理運営の総合評価	○5   ●4   ○3   ○2   ○1
講 評	<p>施設の管理方針に掲げた事項について、多大な努力が見受けられる。特にハード面については、非常勤の技術職員が専門家の見地から修繕内容を見極めたうえ、良好な修繕等を行っていることや、修繕計画を担当部局に提出し、協議を行っている点は大いに評価できる。また、空調設備効率化や館内照明のLED化による省エネ、環境負荷の低減を実現している点についても評価できる。</p> <p>一方、ソフト面について、当初計画されていた事業のうち、一部未実施の事業があるが、当該事業は市主催事業等との重複等を避け、事業を効率的、効果的に実施するための判断と考えられる。また、市の関係部署や市民活動団体との協働による事業の実施も積極的に推進しており、企画段階から参画し、様々な提案を行っている点が評価できる。加えて、窓口の受付時間延長や市主催事業における担当課の打ち合わせにより事業に不要な施設の開放を調整するなど、より多くの利用者に施設を利用してもらう取り組みを実施している。</p> <p>誰もが気軽に来館できるエントランスホールの活用方法については、現在取り組んでいる来館児童の見守り方法を含め、担当部署とともに検討することが望ましい。</p> <p>利用件数については、市民ホール、公民館ともに微増となっているが、高齢化によりサークル数が減少傾向にあるため、引き続き市関係部署との連携のうえ、対策を検討されたい。</p> <p>予算収支では、今年度は2,387,146円の黒字となっている。市主導による電力会社の変更がその主要因ではあるが、空調機器効率化や館内照明のLED化など省エネ化を図っているほか、施設の現状に合わせた適切な修繕等を実施しており、施設の質を低下させない管理運営の努力を行っており、収支状況について評価できる。</p> <p>以上の内容から「計画内容をやや上回るために努力している」と判断し、評価を「4」とする。</p>

#### (参考) 評価の基準

- 5 計画内容を上回る（非常に満足できる）結果
- 4 計画内容をやや上回る（満足できる）結果
- 3 計画内容どおりの（妥当と判断する）結果
- 2 計画内容をやや下回る（不満が残る）結果
- 1 計画内容を下回る（非常に不満が残る）結果